

ふくフク ライフラリー

ケアって何だろう

ケアは特別なものでも
なかったことにする
ものでもない。



3.15 2026
(sun)

10:00-14:00

草加市高齢者福祉センター
ふれあいの里

埼玉県草加市新里町106-6

※駐車場に限りがあるため公共交通機関をご利用ください。

FUKUFUKU LIFERARY



ふくふく
研究所

さまざまホリデー
2026
同時開催



日常の中にある「ケアの瞬間」が並ぶ写真展。
感じ方は、あなたのままで。

自分自身のこと、身近な人のこと、地域や社会の中のことまで、生活のあらゆる場面にケアは存在しています。この写真展では、ケアを「すごいもの」「大変なもの」として語ることも、「特別な人のもの」として切り離すことせずに、その時その場所にあった生活のリアリティーとして掲示します。写真を通して、見る人それぞれが自分の距離感で「ケアって何だろう？」について考えていただけたら嬉しいです。

ふくフク ライフラリー

参加
無料

参加方法

01 会場で参加 展示会場に足をお運びいただき、様々な「ケア」の表現をお楽しみください。

02 写真で参加 草加市にゆかりのある方の「ケア」の写真を募集しています。
※住んでいる・いた、働いている・いた、親戚がいるなど



「写真で参加」
エントリーフォーム
3/10(Tue) 締切

- ・社会や制度の中にあるケア
- ・地域やご近所のケア
- ・身近な人へのケア
- ・自分自身へのケア など

日常にあるさまざまな表現を送ってください。

※お申し込み多数の場合、パネルとして会場には展示されるのは一部のみで、その他の写真はSNSのみでの展示となります。

※ご来場いただいた展示パネルの写真提供者の方には、終了後その場でパネルをお持ち帰りいただけます。

ふくらむフクシ 研究所って？

ふくらむフクシ研究所(ふくフク研)は、トークイベントや勉強会、ワークショップや地域での実験をしながら、「福」祉の世界に新しい価値を「膨」らませ、また「含」ませていくための研究・活動を行っています。支援される側と支援する側、障がいのある人と障がいのない人、福祉サービスと日常生活という境界をにじませながら、多様な暮らし手が「ともに生きる」を実践していければと考えています。

※本企画はみんなで創る「だれもが幸せな」あしたの暮らしと福祉のカタチを目指す「福祉プラスのまちづくり」事業の一環で行われています。

「ふくフク ライフラリー」に
関してのお問合せ

☎ 048-922-1436

(草加市 障がい福祉課 障がい福祉係)

✉ info@coconiaru-inc.com

(株式会社ここにある 大森・藤本)

WEB/SNS

詳細はふくフク研のSNS及び
草加市サイトでご確認ください。



Instagram



Facebook

※特別な配慮が必要な場合は
お問合せにてご相談ください。

主催 草加市

企画運営 株式会社ここにある
ハングオーバー株式会社